

平成24年度 社会福祉法人東員町社会福祉協議会 事業報告書

総括

平成24年度は、法人としての運営・事業全般にわたる現状分析と課題、今後のあり方について、町内関係団体・組織の方々に参画を仰ぎ、「東員町社会福祉協議会あり方検討委員会」を立ち上げ、「法人運営」「地域福祉」「在宅福祉」の3分野からなる提言を受けた。委員会での協議の経過については、随時、社協理事会に報告し、職員間においても共有化を図った。

あわせて、あり方検討委員会提言に対する5ヶ年のアクションプランを策定し、今後、本会の進むべき方向を内外に示すとともに、実践していく指針として、25年度事業計画にも反映させることができた。

東員町のセーフティネット機能を本会の役割として確立するための取り組みとしては、①町内の福祉専門職員間で意見交換会を開催し、社会化されていない困りごとの情報共有に努めるとともに、②将来的な法人後見受任に向けて、判断能力等が低下した方の地域生活を支えることができるよう、職員を成年後見人養成研修に派遣し、今後の体制づくりの準備を行ったほか、障がいのある方がサービスを適切に利用し、いつまでも地域の中で暮らしていくことができるよう、指定特定相談支援事業者の指定申請を行い、ニーズに沿ったサービス等利用計画を作成するための体制整備を進めた。

また、地域課題の解決に自主的に取り組むボランティア・NPOを総合的に支援する拠点である「とういんボランティア市民活動支援センター」の事務局として、センターが、登録者だけでなく地域全体にとって「オモイを支える身近な存在」となるよう、多くの人を巻き込むことに努めた結果、センターに寄せられる相談件数や登録団体数、交流会参加者数などセンターに関わった「人の数」が過去最高になると同時に、センターを介して「地域全体で寄り添い合う関係づくり」を強化することができた。

さらに、介護保険サービス、障がい福祉サービスにおいては、地域福祉の理念を基本に、利用者がいつまでも地域社会の一員として社会参画できる機会を提供できることを目標に、必要なサービスの提供に努めた。

法人の運営体制の強化

<p>1. 役員会・評議員会の開催・監査の実施</p>	<p>地域のニーズに対応し社協の機能を充実するため、執行機関である理事会、議決機関である評議員会、監事による監査を実施した。</p> <p>【理事会】</p> <p>平成24年4月18日(水)</p> <p>① 給与規程の改正について ② 評議員の選任について</p> <p>平成24年5月21日(月)</p> <p>① 定款の変更について ② 定款施行細則の改正について ③ 平成23年度事業報告について ④ 平成23年度一般会計決算について ⑤ 平成24年度一般会計収支補正予算(案)について ⑥ 社会福祉法人東員町社会福祉協議会あり方検討委員会設置規程の制定について</p> <p>平成24年9月14日(金)</p> <p>① 給与規程の改正について ② 事務局規程の改正について ③ 評議員の選任(補充選任)について ④ 東員町社会福祉協議会あり方検討委員会経過報告</p> <p>平成24年12月21日(金)</p> <p>① 平成24年度一般会計収支補正予算(案)について ② 東員町社会福祉協議会あり方検討委員会経過報告</p> <p>平成25年3月25日(月)</p> <p>① 平成24年度一般会計収支補正予算(案)について ② 定款の変更について ③ 経理規程の改正について ④ 平成25年度事業計画(案)について ⑤ 平成25年度一般会計収支予算(案)について ⑥ 平成25年度予算中の経理区分内流用と予備費の充用について ⑦ 職員就業規則の改正について ⑧ 臨時職員就業規則の改正について</p>
-----------------------------	--

	<p>【評議員会】</p> <p>平成24年5月22日(火)</p> <p>① 定款の変更について</p> <p>② 平成 23 年度事業報告について</p> <p>③ 平成 23 年度一般会計決算について</p> <p>④ 一般会計収支補正予算（案）について</p> <p>平成24年12月21日(金)</p> <p>① 平成 24 年度一般会計収支補正予算（案）について</p> <p>平成25年3月29日(金)</p> <p>① 平成 24 年度一般会計収支補正予算（案）について</p> <p>② 定款の変更について</p> <p>③ 理事および監事の選任について(任期満了)</p> <p>④ 平成 25 年度事業計画(案)について</p> <p>⑤ 平成 25 年度一般会計収支予算(案)について</p> <p>⑥ 平成 25 年度予算中の経理区分内流用と予備費の充用について</p> <p>【監査】</p> <p>平成24年5月17日</p> <p>① 平成 23 年度決算監査について</p> <p>平成24年12月12日</p> <p>① 平成 24 年度前期監査について</p>
2. 戸別会員・特別会員の募集	<p>戸別会費（期間 平成 24 年 4 月～5 月）</p> <p>2,857,000 円（5,714 世帯）</p> <p>特別会費（期間 平成 24 年 7 月～8 月）</p> <p>785,000 円（785 口）</p>
3. 個人情報保護の徹底	<p>個人情報保護規程に基づき、全職員が適切に対応した。</p>
4. 苦情・要望の受付	<p>社協が実施する全事業に関する苦情や要望を受け止め、適切・誠実に対応した。</p> <p>① 平成 24 年 11 月 14 日(水) 歳末応援費の申請にかかる民生委員の対応について→申し出人は「気持ちを聞いてほしい」と要望されたので傾聴した。民協会長に報告。</p> <p>② 平成 25 年 1 月 17 日(木) 一般駐車場に公用車が停車しており、駐車枠がない→申し出人に謝罪し、拡大新設した駐車場の案内を行う。職員に対し短時間といえども一般駐車場に公用車を置かないよう徹底。拡大新設した駐車場の案内を増やした。</p>
5. 事務局体制の充実	<p>毎月 1 回、会長、事務局長、総務福祉係、各部門の管理者が集</p>

	まり業務状況の共有、業務改善を図った。
6. 寄付金の受付及び管理	地域福祉を推進するための貴重な財源として、その使途の透明性及び適正な運用管理に努めた。また、ご寄付をいただいた方のお名前を広報とういんへ掲載した。(希望者のみ) 寄付金額 3,292,185円(119件)
7. 社会福祉協議会あり方検討委員会の設置	町内福祉事業所を中心に福祉関連の方25名をあり方検討委員に委嘱して「法人運営分野」「地域福祉分野」「在宅福祉分野」の3つの分科会に分かれて審議いただいた。1月、提言書を拝受した。
8. 社協内防災委員会の実施	センターの防火管理や災害時の職員の初動体制を整えるため防災委員会を実施した。 ①防災会議 館内および各事業所の防災備品の整備と、東員町に避難準備勧告が発令された場合の職員体制について検討し、マニュアル見直した。 5回/年 出席者 総務福祉係および各事業所の代表 ②避難訓練 11月の訓練については、桑名市消防署東員分署の方から実地指導を受け、避難訓練の実施方法を具体的に学んだ。 開催日 平成24年6月13日(水) 平成24年11月21日(水)
9. 人事考課制度導入に向けた準備	高い知識と技術をもった専門職集団として地域福祉の向上に貢献する必要があること、そのため人事考課制度の導入を進めることを職員全員に周知した。

地域で暮らし続けるためのサービスとしくみづくり

対象 主な対	実施する事業	概要
高齢	1. ひとり暮らし高齢者交流会 【共同募金一般募金配分金】	ひとり暮らし高齢者を対象に、交流を通じた閉じこもり予防、仲間づくりを図ることを目的に、東員町民生委員児童委員協議会へ事業委託し、会食会や日帰り旅行等を開催した。 ①開催日 平成24年6月29日(金)

高 齢 者		<p>場 所 東員町保健福祉センター</p> <p>内 容 会食、ワールドカフェによる交流会</p> <p>参加者 77 名</p> <p>②開催日 平成 24 年 12 月 6 日 (木)</p> <p>場 所 東員町保健福祉センター</p> <p>内 容 会食、相撲甚句、振り込め詐欺予防講座</p> <p>参加者 79 名</p> <p>③開催日 平成 25 年 3 月 27 日 (水)</p> <p>内 容 日帰り旅行</p> <p>行 先 焼津千手観音大覚寺ほか</p> <p>参加者 33 名</p>
	2. 生活支援型配食サービス	<p>障がい者の就労支援等の観点から調理と配達を社会福祉法人いずみに委託し、在宅のひとり暮らし高齢者や要援護高齢者等に配食するとともに安否確認をした。【資料 1】</p> <p>実施日 週月曜日から金曜日の中で希望する曜日の昼食</p> <p>個人負担金 300 円</p> <p>利用数 5540 食/年</p> <p>利用実人数 50 名</p> <p>利用者の状況を民生委員や家族に連絡した件数 32 件 (内、民生委員と共に状況確認した件数 8 件)</p> <p>アンケートの実施 【資料 2】</p> <p>調査対象者 利用登録者 32 名</p> <p>調査時期 平成 25 年 1 月 22 日(火)~1 月 30 日(水)</p> <p>調査方法 個別訪問面接調査</p>
	3. ふれあい型配食サービス 【共同募金一般募金配分金】	<p>ひとり暮らし高齢者を中心とした対象者にふれあいを目的に配食を行った。【資料 1】</p> <p>実施日 毎月第 2・4 火曜日と第 1 ~ 4 金曜日の中で希望する曜日の昼食</p> <p>個人負担金 300 円</p> <p>利用数 1262 食/年</p> <p>利用実人数 31 名</p> <p>調理委託先 東員町食生活改善推進協議会 わくわくボランティア</p> <p>配達委託先 わくわくボランティア 訪問介護結</p> <p>①食中毒予防講習会</p> <p>開催日 平成 24 年 6 月 8 日(金)</p> <p>内 容 食中毒を防ぐための食品衛生</p> <p>講 師 桑名保健所</p>

高 齢 者		出席者 22名
	4. 介護タクシー助成事業 【共同募金一般募金配 分金】	<p>介護タクシー券発行により、外出が困難な高齢者の移動手段を支援した。利便性を高めるため契約事業所を6社に増やし、利用者が使いやすいようにチケットを刷新した。</p> <p>契約事業所 株式会社りぼん、有限会社だいち、ひかりサービス有限会社、福祉角喜タクシー、福祉タクシーひまわり、三重近鉄タクシー</p> <p>申請者数 16名</p>
	5. 家族介護継続支援事業・家族介護教室 【町-受託事業】	<p>介護から一時的に離れる機会を提供したり、適切な介護方法を伝えることで、家族の身体的精神的負担を軽減し介護者を支援した。参加しやすいようネオポリス内の会場でも実施した。利用者の登録制を開始した。(登録者 18名)</p> <p>①専門職間の意見交換会 在宅介護者支援の方法、当事業の展開方法について意見交換した。</p> <p>日 時 平成24年10月15日(月) 平成25年2月21日(木) 場 所 いずれも、ふれあいセンター 出席者の所属先 紫苑、もも、パークレジデンス、役場長寿福祉課、地域包括支援センター、ふれあい、</p> <p>②施設見学 開催日 平成24年11月13日(火)～11月17日(土) 見学先 町内福祉事業所・高齢者専用賃貸住宅 14ヵ所 延べ参加者数 47名</p> <p>③ 家族介護継続支援事業 ・リフレッシュマッサージ 開催日 平成24年4月26日(木) 平成24年6月28日(木) 平成24年10月25日(木) 平成25年2月28日(木) 内 容 リフレクソロジストによるマッサージとセルフマッサージの個別指導 延べ参加者数 31名</p> <p>・交歓会 開催日 平成24年7月26日(木) 平成24年12月27日(木) 平成25年3月21日(木) 平成24年4月26日(木) 内 容 場の転換によるリフレッシュ。阿下喜のひなまつり、桑名散策、湯の山温泉、南濃温泉に出向いて開放的な気分で日頃の思いを語った。</p>

高 齢 者		<p>延べ参加者数 38名</p> <p>④ 家族介護教室</p> <p>・オムツの学習 食事の学習</p> <p>開催日 平成25年5月24日(金) 平成25年8月23日(金) 平成25年9月27日(金) 平成26年1月24日(金)</p> <p>内 容 オムツを開始する時期と効果的な使い方。 秋野菜、冬野菜を使った献立の調理実習。</p> <p>延べ参加者数 35名</p>
	6. 一般高齢者対象介護予防事業 【町-受託事業】	<p>一般高齢者を対象に介護予防を目的とした事業を開催した。</p> <p>① 第5期健康塾【資料3】</p> <p>ウォーキング、紙飛行機、看取り介護やがんに関する学習などを行った。今年度から「世話人」が出現し、クラブ活動や福祉まつりへの参画など自主的活動が増加した。</p> <p>開 催 12回/年(毎月第3金曜日)</p> <p>延べ参加者 442名(男女比6:4)</p> <p>② ボイストレーニング</p> <p>正しい発声による健康法と円滑なコミュニケーション方法を学んだ。</p> <p>開催日 平成25年2月6日(水)</p> <p>講 師 ボイスカウンセラー 安藤尚範氏</p> <p>参加者 45人</p>
	7. 生活支援ホームヘルプ事業 【町-受託事業】	<p>日常生活において支援の必要なひとり暮らし高齢者、老夫婦又は高齢者世帯に対してホームヘルパーを派遣し支援を行う事業であるが、利用者はなかった。</p>
	8. 介護二次予防事業 【町-受託事業】	<p>特定高齢者把握事業により把握された特定高齢者に対し、運動器の機能向上、栄養改善事業、口腔機能の向上事業など介護予防の観点から効果がある事業を実施した。毎月1回地域包括支援センターとケース検討を行った。</p> <p>開 催 143日/年</p> <p>延べ参加者 2495名</p>
	9. 訪問介護事業 介護予防訪問介護事業	<p>要介護及び要支援認定を受けられた方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「身体介護」「生活支援」のサービスを365日、24時間体制で行った。また、毎月ホームヘルパーミーティングを行い知識と技術の向上を図った。【資料4】</p>
	10. 通所介護事業 介護予防通所介護事業	<p>要介護及び要支援認定を受けられた利用者の方に入浴、給食、日常訓練等のサービスを提供して在宅生活を援助した。</p>

高 齢 者		特に理学療法士を採用し、効果的な生活リハビリを通して在宅生活の継続を支援した。【資料 5】
	11. 居宅介護支援事業	<p>利用者やご家族の困りごとを傾聴し、利用者の望む生活に近づけるようなケアプランの作成を行なった。又、利用者の状態に合わせた支援の提供をする為に、定期的な訪問や 24 時間対応電話により相談に迅速に対応した。どのような相談にも応じることを基本にし、どうしても当事業所での対応が困難な時には適切な他の事業所を紹介した。さらに、ケアマネジャーのスキルアップの為に、一人一人の研修計画を立てて研修に参加したり、週 1 回は事業所内での定例会にてテーマに添った内容の検討をし、ケアマネジメントの技術向上を図った。【資料 6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定事業所加算の条件を整備している。 ・ 条件を満たすため基準の遵守状況を毎月 1 回確認している。 ・ 退院・退所時に病院等と利用者に関する必要な情報共有等を行い、ケアプランに反映させ <p>医療と介護の連携の強化・推進を図ったケース 19 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症加算のケース 367 件 ・ 独居加算のケース 22 件 ・ 初期加算のケース 43 件
障 が い 者	12. 在宅重度障害者への助成	<p>身障手帳 1 級・療育手帳 A 所持者を対象に、自立生活の支援を目的に、1 人あたり 5,000 円助成した。</p> <p>助成者数 身障手帳 1 級 47 名(所持者数 279 名) 療育手帳 A 14 名(所持者数 65 名)</p> <p>助成日 平成 24 年 12 月 20 日(木)</p>
	13. 障がい児者のつどいの開催	<p>障がいがある方々が東員町で安心して暮らしていくために必要なことやすべきことを当事者が改めて見つめ直し、自主的な活動を起こしていくことを目的に、とういんボランティア市民活動支援センター運営委員会へ事業委託し、座談会等を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座談会 13 回開催 延べ参加者 102 名 ・ 座談会を通して生まれた企画（日帰り旅行） <p>①日 時 平成 24 年 9 月 17 日（祝） 内 容 リフトバスで行く！知多半島の旅 参加者 27 名</p> <p>②日 時 平成 25 年 3 月 23 日（土） 内 容 リフトバスで行く！USJ の旅</p>

		参加者 30名
	14. 障がい者訪問介護事業	可能な限り自立した日常生活を営むことができるように「身体介護」「家事援助」のサービスの提供を行った。【資料7】
	15. 日中一時支援事業	自立支援法に基づいて認定を受けた方に対し、入浴、給食、日常訓練等の介護サービスを実施し在宅での生活を援助した。【資料8】
	16. 障がい者の相談支援事業とサービス利用計画の作成【新設】	指定特定相談支援事業者として指定を受けた。
ひとり親家庭	17. ひとり親家庭に対する教育費助成	小学・中学・高校在籍の対象児童生徒1人年額2万円を9月と2月の2回に分けて助成した。 助成者数 45名(29世帯) 助成日 平成24年9月28日(金) 平成25年2月8日(金)
	18. ひとり親家庭入学卒業祝金の給付	小学校入学、中学校入学、中学校卒業の対象児童生徒に1万円を給付した。 給付者数 38名 給付日 平成25年3月15日(金)
	19. ひとり親家庭ふれあい交流会 【共同募金一般募金配分金】	交流を通じ、対人関係の希薄化解消、情報交換、相互の支えあいを促進することを目的に、町内在住のひとり親家庭に広く参加を呼びかけ下記のとおり実施した。 ①日 時 平成24年8月23日(木) 行 先 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン 参加者 29名 ②日 時 平成25年3月22日(金)夜 ~24日(日)早朝 行 先 東京ディズニーランド 参加者 39名
	20. 歳末たすけあい図書カードの交付【歳末たすけあい募金配分金】	歳末たすけあい募金を活用して、ひとり親家庭の18歳未満の児童生徒に対し、1人あたり2,000円分の図書カードを交付した。 交付者数 120名(76世帯) 送付日 平成24年12月18日(火)
地域全般	21. 歳末応援費の交付 【歳末たすけあい募金配分金】	歳末たすけあい募金を活用して、ひとり暮らし高齢者、生活保護受給世帯に対し、明るい希望を持って新年を迎えていただくための応援費(助成金)を交付した。 交付者数(金額) ひとり暮らし高齢者297名(3,000円/1人) 生活保護受給世帯2世帯(5,000円/1世帯)

地域 全 般		(町内保護世帯数 45 世帯) 助成日 平成 24 年 12 月 25 日(火)												
	22. 心配ごと相談所と無料 弁護士相談所の開設	無料生活相談所、無料弁護士相談所を実施した。適切なアド バイスを行うとともに、相談内容に応じ他機関を紹介した。 開催日 2 回/月 一般相談 9 件(0.3 件/回) 弁護士相談 99 件(4.1 件/回)												
	23. 地域で暮らすためのセ ーフティネットの構築 【新設】	有料老人ホーム、ペットの散歩、権利擁護事業に利用対象に 当たらない方の金銭管理支援等の相談があった。日常的な金銭 管理サービス事業を立ち上げて支援した。 相談件数 3 件 ①日常的な金銭管理サービス事業 利用者 1 名 支援回数 3 回(出金、郵便物の投函、記帳など)												
	24. 車いす・スロープ無料 貸出【共同募金一般募 金配分金】	短期間あるいは緊急に車いすが必要な方に、最長 1 か月間 無料で貸し出し、在宅生活を支援した。 車いす 85 件 スロープ 4 件 車いす利用の目的 → 利用者の平均年齢 77 歳												
		<table border="1"> <tr> <td>通院</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>一時退院</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>旅行</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>買い物</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>日帰り行楽</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他(講座・選挙開催)</td> <td>7</td> </tr> </table>	通院	37	一時退院	12	旅行	14	買い物	6	日帰り行楽	9	その他(講座・選挙開催)	7
	通院	37												
	一時退院	12												
	旅行	14												
買い物	6													
日帰り行楽	9													
その他(講座・選挙開催)	7													
25. 福祉用品リサイクル事 業「ゆずりはネット」 【共同募金一般募金配 分金】	家庭で使用しなくなった福祉用品を譲りたい方と譲ってほ しい方の橋渡しをして、福祉用品の効果的な給付を促進、廃 棄物の減量化を図った。 ゆずります 3 件(ベッド 2、ポータブルトイレ 1) ゆずってください 2 件(ポータブルトイレ 2) 成 立 1 件(ポータブルトイレ)													
26. 地域権利擁護事業	日常生活上の判断が困難な高齢者などに、日常の金銭管理、 必要な手続きや利用料の支払いなどについて、同行や代行に より支援した。 利用者数 4 名 生活支援員 2 名(男性 1. 女性 1)													
27. 法人後見を受任するた めの学習、要綱の整備	法人として後見人を受任できる体制をつくるため、職員 1 名 が成年後見人養成研修を修了した。													
28. 低所得世帯への資金貸 付の事務 【県社協-受託事業を	経済的自立及び生活意欲の助長促進を図ることを目的 に相談対応、申請、償還指導等の事務を行った。 ・相談件数 19 件													

地域 全般	含む】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的貸付調査委員会 日 時 平成 25 年 3 月 13 日(水) 内 容 就学支援資金の貸し付けについて ・ 償還率 総合支援資金：0% 福祉資金：100% 教育支援資金：100% 緊急小口資金：18.02% ・ 支援件数 延べ 46 件【資料 9】
	29. 民生委員児童委員協議会の事務局及び助成	<p>①民生委員児童委員が活動しやすいよう事務局を担い研修等の支援をした。</p> <p>隔月役員会・定例会の開催、委員間が情報共有できるよう支援、研修や自主事業の支援 訪問活動と個別支援の助言 ひとり暮らし高齢者に花鉢を持って訪問し、状況把握 歳末応援費の申請支援 ひとり暮らし高齢者交流事業受託実施 高齢者調査の支援 保育園入園等調査書記載の助言 各地域ブロック会、分野別活動の支援 一日保育士・クリスマス会実施援助 学校訪問の支援 救急医療情報キットの利用促進と情報の更新の助言 ひとり暮らし高齢者防火診断の支援 福祉マップ刷新の支援 PR 活動・広報「絆」発行の支援 公的貸付等低所得者対象の支援活動に対する助言 ほか</p> <p>②車いす無料貸出や配食サービスによる情報を民生委員と共有し、リアルタイムの情報把握を行った。</p>
	30. 当事者団体等の育成支援	<p>福祉に関係する当事者団体の運営支援を目的に助成金を交付したほか、東員町シニアクラブ連合会、東員町母子寡婦福祉会、東員町遺族会については、事務局業務の一部を代行するなど必要な支援を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東員町遺族会／310,000 円 ・ 東員町障がい児（者）を守る会／100,000 円 ・ いなべ地区視覚障害者協会／30,000 円
	31. 子育て支援事業 【共同募金一般募金配分金】	<p>①子育て応援ルームの運営</p> <p>ボランティアが見守りを行なう、親子が安心して集えるフリースペースを提供した。</p> <p>開催日数 95 日</p>

		<p>日 時 毎週月曜日と水曜日 10:00～15:00 場 所 東員町ふれあいセンター ふれあいの間 延べ来場者数 479組・1,079名</p> <p>②子育て親子手作りおやつ教室の開催支援 東員町食生活改善推進協議会と託児ボランティア（バンビ、すずらんの会、シニアクラブ連合会女性部）が協働開催する手作りおやつ教室を支援した。</p> <p>日 時 平成24年7月18日、10月1日 平成25年1月31日 延べ参加者 37組の親子</p> <p>③東員子育て支援ネット定例会(座談会)の開催 毎月第3火曜日、町内で子育て支援活動に取り組んでいるNPO・ボランティアが協働できるよう活動情報を交換したり意識の共有を図った。</p> <p>④東員子育て支援ネット広報「ハイハイ」の発行 町内の子育て家庭に支援の輪の存在を周知することを目的に、子育て支援ボランティアが作成した情報紙を2回発信した。</p> <p>⑤子育て（ち）caféの開催 東員子育て支援ネットが主宰するボランティアと子育て親子が直接交流する事業を支援した。</p> <p>日 時 平成24年11月13日、平成25年3月12日 延べ参加者 17組の親子</p>
--	--	--

地域を支える人づくり・生きがいづくり

高 齢 者	1. シニアカレッジ	<p>地域リーダーを養成する目的で、東員町の教育行政、旅行、健康体操と介護予防、市民活動など多角的な内容で教養学部を開催した。【資料10】</p> <p>開 催 15講座 受講者 43名（修了証書授与者41名）</p>
	2. シニアサークル	平成24年度は経過措置として実施し、運動系はフレンドリークラブへ、文化系は公民館講座に移行して事業の整理統合を

		行った。
	3. シニアスポーツの振興	<p>日頃の活動成果を発揮する機会を設け、高齢者の生きがいと健康増進につなげることを目的に各種スポーツイベントを開催した。</p> <p>①ゲートボール大会 日 時 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 場 所 六把野新田ゲートボール場 参加数 20 名 (4 チーム)</p> <p>②グラウンドゴルフ大会 日 時 平成 24 年 9 月 27 日 (木) 場 所 多目的グラウンド 参加数 122 名</p> <p>③ユニカール大会 日 時 平成 24 年 11 月 25 日 (日) 場 所 東員町総合体育館 参加数 51 名 (17 チーム)</p> <p>④ゴルフ大会 日 時 平成 24 年 7 月 13 日 (金) 場 所 リオフジワラカントリークラブ 参加数 64 名</p>
	4. シニア自主サークル活動の支援	シニアサークルをきっかけとして誕生した自主活動を行うグループ（陶芸、グラウンドゴルフ、手編み、ユニカール、社交ダンス、日舞、詩吟、ペタンク、囲碁将棋）に活動場所の確保などの支援を行った。
地域全般	5. 地域ケア人材育成事業	<p>スキンシップと傾聴によって在宅介護を支援する人材を育成した。また、障がいがある方、初老の方などがネイルをきっかけに交流した。</p> <p>日 時 平成 24 年 11 月 19 日(月) 場 所 ふれあいセンター 研修室 内 容 ネイルアートを楽しもう 参加者 16 名</p>
	6. 災害ボランティアセンター研修事業【新設】	<p>災害ボランティアセンターの円滑な立ち上げ及び運営が行えるよう、防災ネットとういんが主宰する防災・災害ボランティア育成講座を共催した。</p> <p>日 時 平成 24 年 11 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日) 場 所 東員町役場 西庁舎 参加者 16 名</p>

住民参加の基盤づくり

<p>1.「ふくしのわ」の発行</p>	<p>社協事業の紹介、社会福祉、ボランティア等の情報提供を目的に、全戸配布により年4回発行した。(発行部数 8,000部)</p> <table border="1" data-bbox="595 504 1458 1133"> <thead> <tr> <th>発行日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月6日</td> <td>表紙 シニアカレッジ 内容 平成24年度事業計画・予算 ゆずりはネット 健康塾 職場体験 社協会費・日赤社費 他</td> </tr> <tr> <td>7月6日</td> <td>表紙 健康塾 内容 平成23年度事業報告・決算 勤労体験学習 あり方検討委員会 社協特別会費 他</td> </tr> <tr> <td>10月5日</td> <td>表紙 東員福祉まつり 内容 赤い羽根共同募金 施設見学ツアー ネイルアート教室 行事案内 他</td> </tr> <tr> <td>1月18日</td> <td>表紙 東員第一中学校ブラスバンド部 内容 小学校福祉体験 ひとり暮らし高齢者交流会 社協会費実績 介護タクシー 他</td> </tr> </tbody> </table>	発行日	内容	4月6日	表紙 シニアカレッジ 内容 平成24年度事業計画・予算 ゆずりはネット 健康塾 職場体験 社協会費・日赤社費 他	7月6日	表紙 健康塾 内容 平成23年度事業報告・決算 勤労体験学習 あり方検討委員会 社協特別会費 他	10月5日	表紙 東員福祉まつり 内容 赤い羽根共同募金 施設見学ツアー ネイルアート教室 行事案内 他	1月18日	表紙 東員第一中学校ブラスバンド部 内容 小学校福祉体験 ひとり暮らし高齢者交流会 社協会費実績 介護タクシー 他
発行日	内容										
4月6日	表紙 シニアカレッジ 内容 平成24年度事業計画・予算 ゆずりはネット 健康塾 職場体験 社協会費・日赤社費 他										
7月6日	表紙 健康塾 内容 平成23年度事業報告・決算 勤労体験学習 あり方検討委員会 社協特別会費 他										
10月5日	表紙 東員福祉まつり 内容 赤い羽根共同募金 施設見学ツアー ネイルアート教室 行事案内 他										
1月18日	表紙 東員第一中学校ブラスバンド部 内容 小学校福祉体験 ひとり暮らし高齢者交流会 社協会費実績 介護タクシー 他										
<p>2.ホームページの運営</p>	<p>情報を、より迅速且つ多くの住民に提供することを目的に、ホームページを運営し、新しい情報を発信するようコンテンツの更新に努めた。</p> <p>閲覧件数 194,181件</p>										
<p>3.東員福祉まつり</p>	<p>住民が主体となって東員福祉まつりを開催することにより、町民の地域活動への参画意識を高めるよう、実行委員会を組織して委託実施した。</p> <p>日 時 平成24年11月4日(日)</p> <p>場 所 東員町保健福祉センター・東員町ふれあいセンター</p> <p>テーマ 伝える 広げる 私たちの活動</p> <p>来場者 約1,000名</p> <p>実行委員 12名</p> <p>委員の主な活動分野(とういんボランティア市民活動支援センター、シニアクラブ、民生委員児童委員協議会、自治会長、文化協会、社会福祉法人いずみ、食生活改善協議会、役場、社協)</p> <p>委員会開催の支援(8回)</p> <p>出展者会議開催の支援(2回)</p> <p>広報活動の支援</p>										

4.東員町ふれあいセンター指
定管理者としての管理運営
の受託

快適に施設を利用していただけるよう アンケートを実施すると
ともに、適正な運営管理に努めた。

アンケート結果（集計 54 名）

性 別

男性	女性
27 名	27 名

利用頻度

年数回	月 1 回	週 1 回	週 2・3 回	週 4 回以上	無記入
9 名	11 名	5 名	16 名	4 名	9 名

利用目的（複数回答可）

会議	催事に参加	サークル活動	入浴	食事
6 名	3 名	13 名	18 名	3 名
休憩	マッサージ器	カラオケ	その他	
3 名	8 名	2 名	1 名	

施設の清潔度

きれい	普通	悪い	無記入
43 名	6 名	0 名	5 名

職員の対応

よい	普通	悪い	無記入
43 名	6 名	0 名	5 名

総合的な満足度

よい	普通	悪い	無記入
36 名	10 名	0 名	8 名

施設の利用推進

施設利用の推進のため「ふくしのわ」に館内写真を掲載し、利用
促進に努めた。東員町体育施設に一般浴室 PR 用ポスターを張り、
利用者増加を図った。また、建設から 18 年が経過していること
から、修理箇所も多く、一般浴室・トイレ・マッサージ器等の修
理を行い、快適にご利用いただけるよう努めた。

ご意見箱の設置

平成 23 年度から継続して、ご意見箱を設置し、来場者の方から
の意見の集約に努めた。 2 件

- ・浴槽内で体をこすっている人がいる→ポスターで利用方法を案内した。
- ・食堂の机の配置が悪い→使いやすいように配置を変えた。

<p>5.ボランティア市民活動支援センターの設置・運営</p>	<p>①ボランティア活動・行事保険の加入受付 ボランティア活動保険加入者 566名 ボランティア行事保険加入 6件</p> <p>②活動基盤を整えるため、ボランティア市民活動支援センター運営委員会の事務局を担った。</p> <p>運営委員会 14回開催 25年度以降のセンターあり方検討会 5回開催場の提供場の提供の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー機 119団体、2,663枚 ・印刷機 318団体、63,211枚 ・パソコン 9団体 ・ミーティングコーナー181団体・791名 ・施設確保、減免代行 16回 <p>備品の貸出支援 128件 登録団体の受付・管理代行 74団体（※24年度末） ボランティア相談・市民活動相談の受付 432件 登録団体代表者会議・リーダー交流会の開催支援 ふれあい交流会の開催支援 夏の市民活動「わくわく体験博」開催支援 みえの現場・すごいやんかトークに出席 名張市社会福祉協議会「視察研修」の受入 広報基礎セミナー ファシリテーションセミナー えがお通信 2回発行 登録団体活動の出張展示 6回 インターネットによる情報受発信 閲覧数 69,246件</p>
<p>6.公益活動団体(ボランティア・市民活動団体など)に対する活動助成事業</p>	<p>町内に拠点に活動する公益活動団体を対象に、具体的な事業に要する経費の一部を助成した。助成金額は公開プレゼンテーションを行った上で決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人生ごみリサイクル思考の会／40,000円 ・NPO法人地域お助けネット／20,000円 ・笹尾西3丁目自主防犯パトロール隊／10,000円 ・朗読ひばりの会／90,000円 ・東員町障がい児者親の会／70,000円 ・すずらの会／35,000円 ・劇団員弁川／80,000円 ・いなべ聴覚障害者福祉協会／38,200円 ・子の会／24,000円

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲部小学校安全ボランティア会／89,000 円 ・ 東員点訳友の会／12,000 円 ・ ガールスカウト三重県第 1 2 団／30,000 円 ・ 写遊人／30,000 円
7.共同募金委員会の活動支援及び助成	<p>共同募金委員会の事務局として、町民及び町内企業に対し、赤い羽根共同募金運動への理解と協力を求めるとともに、共同募金配分金事業の適正な実施とその効果について検証し、結果をホームページ等で広く公開した。</p> <p>運動月間 平成 24 年 10 月 1 日～12 月 31 日 一般募金 2,489,026 円（目標額 2,458,200 円） 歳末たすけあい募金 1,226,220 円（目標額 1,150,000 円） 委員会開催日 平成 25 年 9 月 25 日(水) 平成 26 年 3 月 27 日(木)</p>
8.日本赤十字社社費増強運動の実施	<p>日本赤十字社東員町分区事務局として、日本赤十字社活動の普及啓発と、社費加入について町民の理解と協力を求めた。</p> <p>活動期間 平成 24 年 5 月～6 月 実績 2,921,334 円 東員町分区配分金 529,740 円</p>



シニアカレッジ(平成 25 年 1 月 9 日)
「ボランティア市民活動の現状について」市民活動担当職員が説明した。